

科目ナンバリング		U-LAS04 10003 LJ47							
授業科目名 <英訳>	教育学II Pedagogy II			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 久保田 健一郎				
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	木3		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
<p>本授業は、学校教育より広い範囲で教育を捉え、幼児期の教育、少子化問題、親になること、児童虐待、子どもの貧困、科学の進歩と子育て、生殖と出産など幅広いテーマを学んでいく。その際に教育人間学のアプローチを採用する。教育人間学とは、教育に関して自明に思われていることを、その根底から疑って考察するものである。こうしたアプローチによって、教育に関する事象をより深く理解することができる。</p>									
[到達目標]									
<ul style="list-style-type: none"> ・教育のみで人間の成長を考える限界と、人間形成論の可能性を理解する。 ・各テーマについてその現象と背景について理解する。 									
[授業計画と内容]									
<p>基本的に以下の計画に従って授業を進めるが、講義の進行具合によって、講義回数が異なることがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．教育から人間形成へ 2．幼児教育のアクチュアリティ 3．少子化問題の人間学 4．3歳児神話という思想 5．親になること ある事例の紹介 6．親になること 父親の子育て・母親の子育て 7．児童虐待 8．子どもの貧困 9．施設で育つ子どもたち 10．科学の進歩と子育て ある事例の紹介 11．科学の進歩と子育て 優生学と現代社会 12．生殖と出産の人間学 13．母子保健の思想史 14．地域社会と子育て 15．フィードバック(フィードバック方法は別途連絡します) <p>授業回数はフィードバックを含め全15回とする</p>									
[履修要件]									
特になし									
----- 教育学II(2)へ続く -----									

教育学II(2)

【成績評価の方法・観点】

平常点（50点）と期末レポート（50点）で評価します。平常点は課題提出（25点）と授業への参加度（25点）に応じて評価します。期末レポートは、到達目標の達成度に基づき評価します。期末レポート提出のみで単位が出る授業ではないことを理解した上で、受講して下さい。

【教科書】

PandAに授業資料を提示します。

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

日頃から教育のみならず、幅広く社会問題に興味を持つことが最大の予習です。復習は紹介した参考文献などから、各自深めていってください。

【その他（オフィスアワー等）】

授業内容に関心がある方のみ受講して下さい。例年、履修者が多く、抽選になりやすい授業ですので、単位取得のみに関心がある学生の受講はご遠慮ください。
授業方法に関しては、講義が中心になりますが、映画鑑賞、グループワーク、課題提出を織り交ぜた授業になります。